



SLC Group

2024年3月期 第2四半期 決算説明会資料

システム・ロケーション株式会社

Co-Creation & Strengthening Core Competence

2023年11月10日



2480

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

1. 決算概要

- P 4 決算ハイライト
- P 5 連結PL
- P 6 財務状況等
- P 7 営業外損益と特別損益の主な内訳
- P 8 業績予想との差異

2. 中期経営計画「Change Digits 2025」進捗状況

- P 1 0 中計振り返り ～エグゼクティブ・サマリー～
- P 1 1 ～コミットメント～
- P 1 3 ～達成のための戦略～
- P 1 4 コミットメント進捗状況

3. 附属資料

- P 1 7 ビジネスモデル
- P 1 8 主要商品の紹介
- P 2 1 Inspiration株式会社の紹介
- P 2 2 グループ会社
- P 2 3 会社概要

1. 決算概要

◆第2四半期業績

- ✓ 売上高 : 856百万円 (前年同期比 +19百万円 +2.3%)
- ✓ 営業利益 : 293百万円 (前年同期比 +21百万円 +7.8%)
- ✓ 当期利益 : 183百万円 (前年同期比 +4百万円 +2.4%)
- ✓ 2Q業績予想値比 :
 - ・売上高-3百万円、営業利益+3百万円、当期利益-11百万円

◆第2四半期取り組み実績

- ✓ 厳しい市場環境に対応する新商品の開発
- ✓ 既存商品のブラッシュアップ・顧客ニーズへの細やかな対応
- ✓ 既存顧客と別業態の新規顧客ニーズの発掘

単位 (百万円)

	前第2四半期 (22年4月～22年9月)		当第2四半期 (23年4月～23年9月)		前期対比	
	実績 (A)	売上比	実績 (B)	売上比	(B) - (A)	%
売上高	837	-	856	-	19	2.3%
売上原価	141	16.8%	173	20.2%	32	22.9%
売上総利益	696	83.2%	683	79.8%	△ 12	△ 1.9%
販売費及び一般管理費	424	50.6%	389	45.5%	△ 34	△ 8.1%
営業利益	272	32.5%	293	34.3%	21	7.8%
経常利益	299	35.8%	320	37.4%	20	7.0%
当期純利益	179	21.4%	183	21.5%	4	2.4%

- 売上高 : 前年比 2.3%増 ⇒ システム継続利用を期待できる既存顧客への拡販
- 売上原価 : 前年比 22.9%増 ⇒ 車両画像撮影費用・システム償却費の増加など
- 販管費 : 前年比 8.1%減 ⇒ 前年にM&A費用を計上
- 営業利益/経常利益 : 前年比 7.8%増/7.0%増 ⇒ 為替差益の計上、株式配当金等
- 当期純利益 : 前年比 2.4%増 ⇒ 前年、役員退職金の発生等

✓ 財務状況

	2023年3月期		当第2四半期		増減 (B) - (A)
	実績 (A)	構成比	実績 (B)	構成比	
流動資産	1,881	47.2%	1,949	47.0%	68
固定資産	2,103	52.8%	2,197	53.0%	94
流動負債	250	6.3%	249	6.0%	△0
固定負債	548	13.8%	584	14.1%	35
純資産	3,185	79.9%	3,313	79.9%	127
総資産	3,984	-	4,167	-	162

単位 (百万円)

- 流動資産
 - ・ 現預金の増加 (70百万円)
- 固定資産
 - ・ 工具器具備品の増加 (68百万円)
 - ・ 投資有価証券時価評価 (123百万円)
- 流動負債
 - ・ 賞与引当金の増加 (14百万円)
 - ・ 未払法人税等の減少 (11百万円)
- 固定負債
 - ・ 繰延税金負債の増加 (31百万円)
- 純資産
 - ・ その他有価証券評価差額金の増加 (76百万円)
 - ・ 連結剰余金の増加 (49百万円)

✓ 設備投資及びキャッシュ・フローの状況

	2022年9月期	2023年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	277	274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△651	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176	△133
現金及び現金同等物の期末残高	1,426	1,730
設備投資額	39	86
減価償却費	39	46

単位 (百万円)

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
 - ・ 減価償却費の計上 (46百万円)
 - ・ 税金等調整前当期純利益の計上 (320百万円)
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
 - ・ 固定資産取得に伴う支出 (102百万円)
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
 - ・ 配当金の支払い (133百万円)

✓ 営業損益

単位 (百万円)

	FY2023 2Q	FY2024 2Q	前年同期対比
営業外損益	27	26	△1
(主な内訳)			
受取配当金	22	23	1
その他	4	2	△2

✓ 特別損益

単位 (百万円)

	FY2023 2Q	FY2024 2Q	前年同期対比
特別利損益	△14	△21	△6
(主な内訳)			
役員退職慰労金	△13	-	13
減損損失	-	△21	△21
その他	△1	0	1

✓ 営業利益、経常利益にて増加

単位（百万円）

	FY2024 2Q		差異
	業績予想値	実績	金額
売上高	860	856	△ 3
営業利益	290	293	3
経常利益	310	320	10
親会社株主に帰属する 当期純利益	195	183	△ 11
1株当たり 当期純利益（円）	55.27	52.10	△ 3.17

2. 中期経営計画「Change Digits 2025」 進捗状況

Co-Creation による提供価値・企業価値の持続的拡大

Chang Digits 2025
2021～2025年度の取り組み

- ① 深化：今ある稼ぐ力の発揮
- ② 探索：新たな稼ぐ力の創造
- ③ 育成：強い稼ぐ力の維持強化
- ④ 安定：財務安定させ安心して稼ぐ力の確保

事業環境大転換への適応

トップライン
確保

システム事業
への集中



Co-Creation



提案書 コンテンツ作成	車両資産価値 評価サービス	見積り支援 システム
オンライン買取 試算サイト	車両資産価値 モニタリング サービス	

Co-Creation

Crocoシリーズ
中古車管理
新領域
(CASE、MaaS、
地銀(ほか)
etc.etc.)

Co-Creation

2005年

2010年

2015年

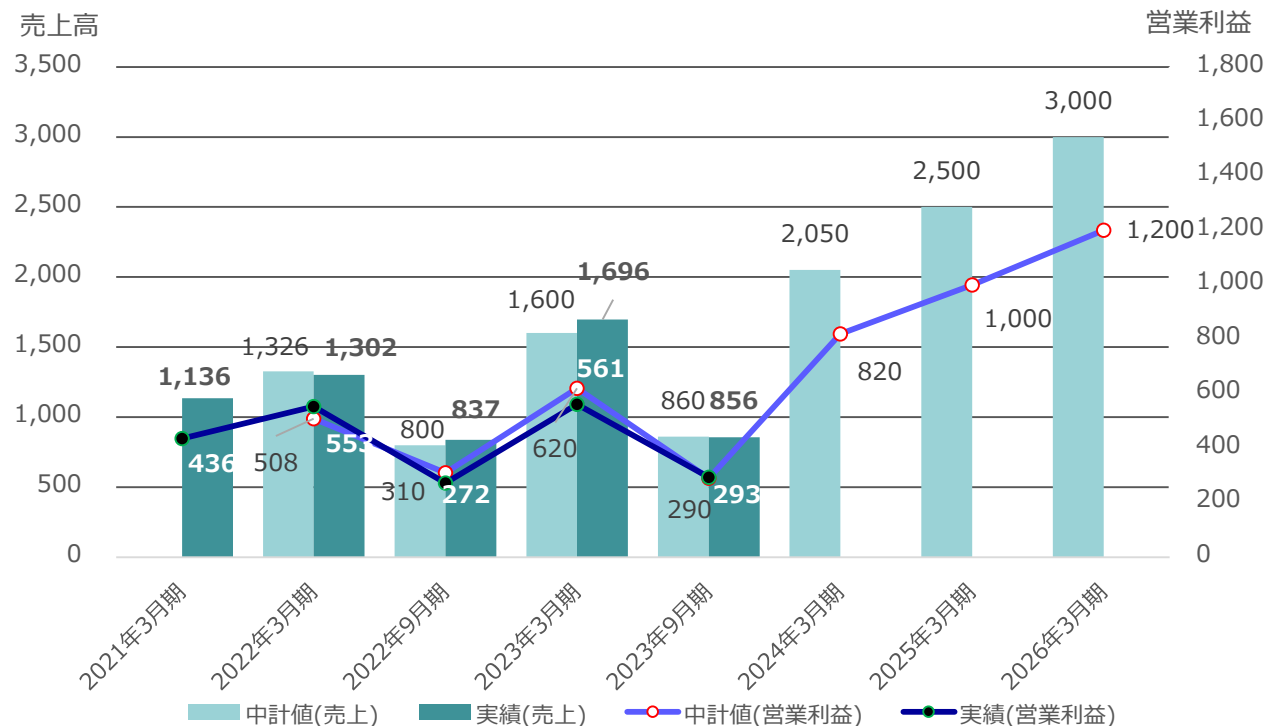
2020年

2025年

2030年

2035年

中期計画 – 売上と利益 –



	21/3月期	22/3月期	23/3月期	23/9月	24/3月期	25/3月期	26/3月期
Step	第1フェーズ ・ トップラインの確保 ・ 新規ビジネスの探索		第2フェーズ ・ トップラインの確保 ・ 新規ビジネスの事業化		第3フェーズ ・ トップラインの確保 ・ 次中計に向けた仕掛け		
売上高(百万円)	1,136	1,302	1,696	856	2,050	2,500	3,000
営業利益(百万円)	436	553	561	293	820	1,000	1,200
営業利益率(%)	38.4	42.5	33.1	34.3	40.0	40.0	40.0

中期計画 – 達成へのマイルストーン –

		22/3月期	23/3月期	23/9月	24/3月期	25/3月期	26/3月期
Step		第1フェーズ	第2フェーズ ・ トップラインの確保 ・ 新規ビジネスの事業化		第3フェーズ ・ トップラインの確保 ・ 次中計に向けた仕掛け		
マイルストーン	CA Doctor導入店舗数	1,150	1,250	1,280	1,340	1,420	1,500
	CA群* 延べ導入店舗数 *DLR向け各種業務支援ツール	250	1,000	1,400	2,000	3,400	5,000
	シスろけつと単品売上 (百万)	240	260	280	300	350	400
	新規事業/商品売上寄与率	1%未満	1%未満	1%	3%	5%	10%



戦略実現のための戦術概要

深化	探索	育成	安定
今ある稼ぐ力の発揮	新たな稼ぐ力の創造	強い稼ぐ力の維持強化	安心して稼ぐ力の確保
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基盤技術商品 ・ CA Doctor ・ CA群 ・ シスロけっと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規機能追加 ・ 新規商品開発 ・ 新規ビジネス事業化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ R&D ・ 3R(IR,PR,ER) ・ 採用&教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CREマネジメントサイクル ・ M&A、小規模CVCなど
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ対応で獲得した販売ノウハウを深化させ、販売を加速 ・ 顧客システムとの連携、業務フローとの親和性向上による商品力強化 ・ Crocoラインアップを完成させ懐を深くし、成約率を上げる <p>以上による トップラインの確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社の強みである“Co-Creation力”の発揮 ・ 内製力強化と良質な外注先発掘による開発リソースの確保 ・ CASE、MaaSプレイヤーへの能動的接触とディスカッションの実施 <p>以上による 新たな稼ぐ力の創造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分野に応じたクローズド・イノベーションとオープン・イノベーションの使い分け ・ 中計発表。中計および説明会資料のHTML化 ・ Co-Creation力(付加価値を生み出す働き方)の追求 <p>以上により継続的な 企業価値向上力を獲得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ CREマネジメントによる新たなCFの創出 ・ 当社事業領域の深化・拡大を目的としたM&Aの実行 ・ 小規模CVCによるオープンイノベーションの実現加速(検討段階) <p>以上による 事業収益力の向上</p>

大幅な遅れ

遅れ

遅れ

順調

順調

進行中

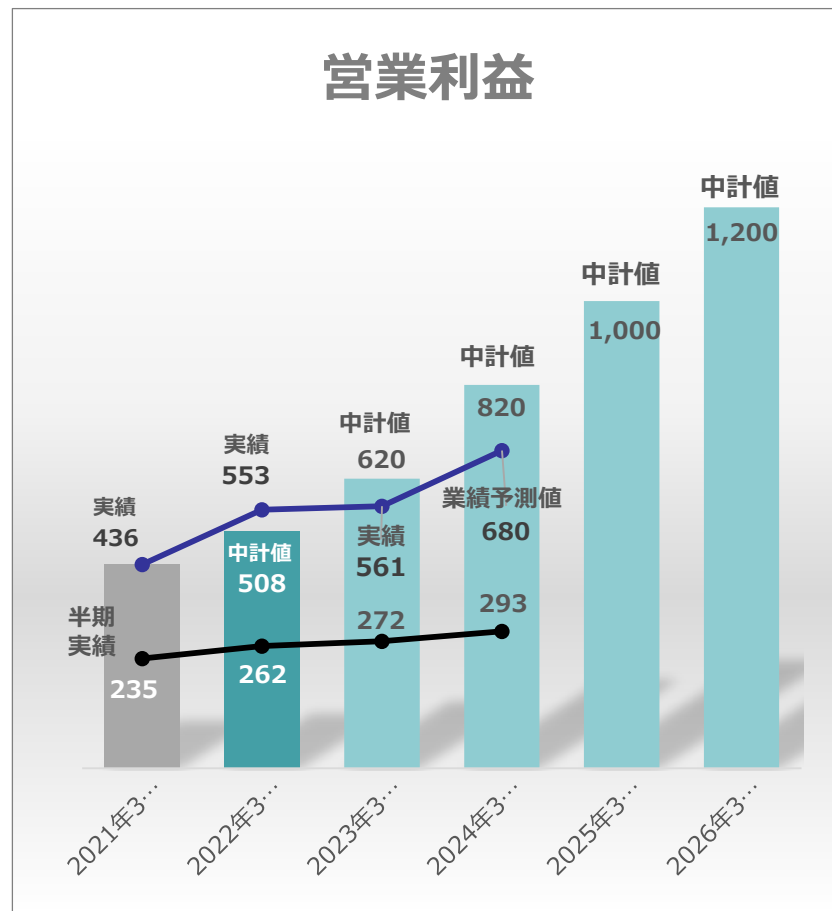
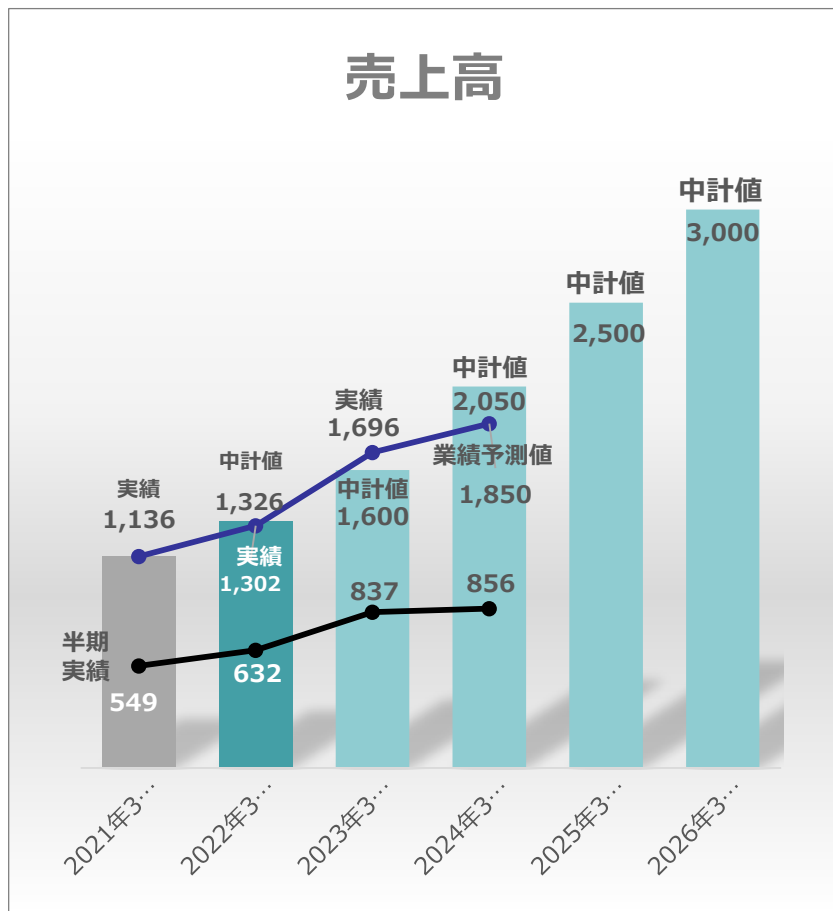
順調

コーポレート

- ・ コーポレートガバナンスの強化による経営資源の最大活用、経営品質の向上
- ・ 透明性を確保し企業価値の毀損リスクを排除。SLCグループの社会的価値を向上

- ✓ 売上：対中計値/2 △169百万円。業績予想値 △3百万。市場環境悪化。
- ✓ 営業利益：対中計値/2 △117百万円。業績予想値 +3百万。
- ✓ 営業利益率：目標の40%に対して34.3%。

売上原価の増大、無形資産・顧客関連資産・のれん等償却の影響



- ✓ 今期の市場環境は、最悪期は脱したものの、想定以上に悪い
- ✓ 短期間での中期計画のキャッチアップは困難
- ✓ 開発新商品の収益貢献が遅延
- ✓ 新規ビジネスの引き合いは順調

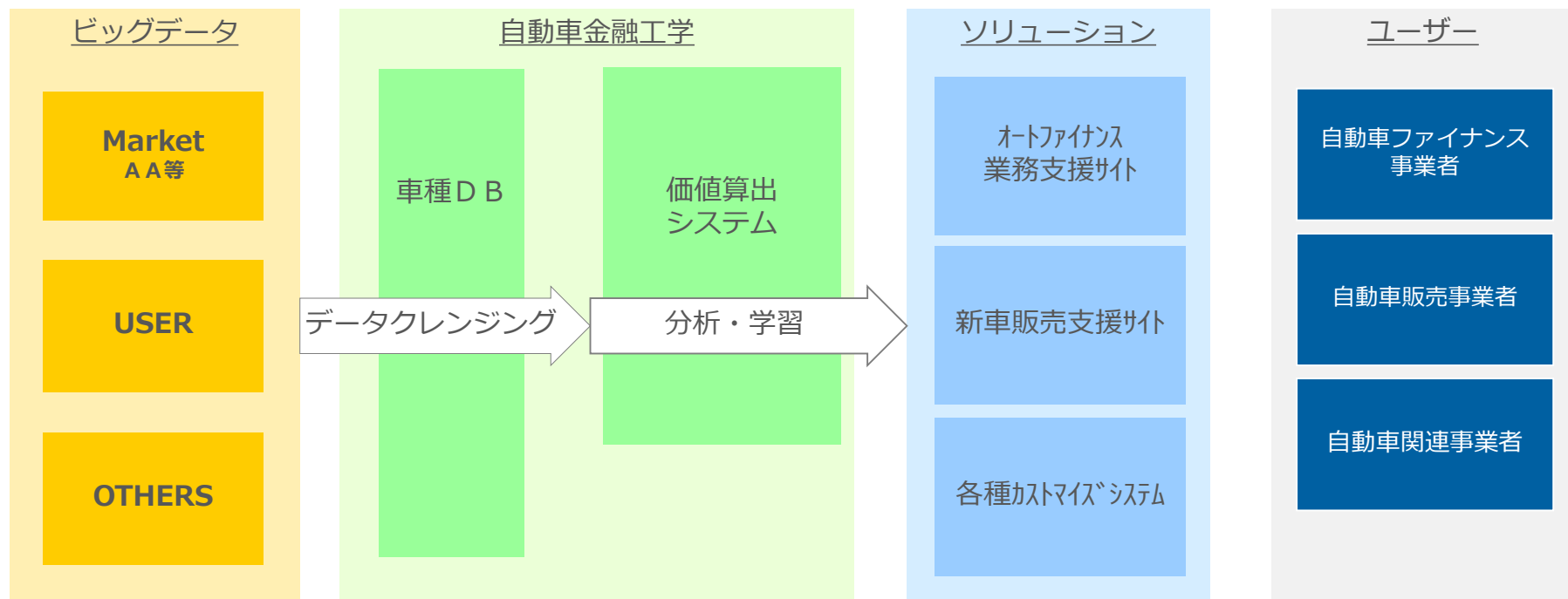
		22/3月期	23/3月期	23/9月	24/3月期	25/3月期	26/3月期
			実績	実績			
Step	第1フェーズ	第2フェーズ			第3フェーズ		
	・トップラインの確保 ・新規ビジネスの探索	・トップラインの確保 ・新規ビジネスの事業化			・トップラインの確保 ・次中計に向けた仕掛け		
マイルストーン	CA Doctor導入店舗数	1,012	1,150	980	1,340	1,420	1,500
	CA群* 延べ導入店舗数 *DLR向け各種業務支援ツール	227	250	243	2,000	3,400	5,000
	シスろけつと単品売上(百万)	237	240	248	300	350	400
	新規事業/商品売上寄与率	1%未満	1%未満	1%未満	3%	5%	10%

大幅な遅れ

大幅な遅れ

遅れ

3. 付属資料



Etc.

車種カタログデータベース



車種DB

2000年10月時点で新車販売されていた車種から現行販売車種まで最新情報を網羅しています。
汎用性が高く、オプションの適用条件も参照可能です。



車両価値算出システム

RVクルマTM
Doctor

全国の中古車取引データを活用し、
金融商品設計において重要な
「引き揚げ時点」での車両価値を
算出します。

PVクルマTM
Doctor

現在の標準的な車両価値（現在価値）
を恣意性なく算出します。

RVトラックTM
Doctor

架装によって大きく価格の異なる
トラックの将来価値を算出します。

オートファイナンス事業者向け



オートファイナンス事業者に向けて様々な機能をパッケージング化して提供します。



CAV (Car Asset Value)
車両資産価値の一括算出サービスを提供します。



入札会システム (しろくま)

オークションの運営システムをソフト化。
車両再販業務を支援します。

自動車関連事業者向け

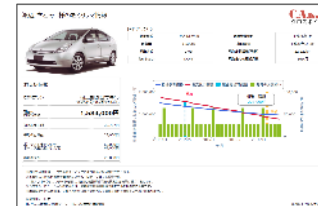
提案書 コンテンツ作成	車両資産価値 評価サービス	見積り支援 システム	買取価格 試算サイト	車両資産価値 モニタリング サービス
----------------	------------------	---------------	---------------	--------------------------

お客様の様々なニーズにお応えする各種カスタマイズの提案。
メーカー系ファイナンス会社や信販会社には、システム開発
支援やコンサルティングも行っています。

自動車販売会社向け



自動車販売会社向けの販売支援システム。
新車や中古車の乗り換えをサポートします。



業務支援システムの提供

各販売会社が抱える課題を解決するシステム
を開発・提供します。

派生ソリューション

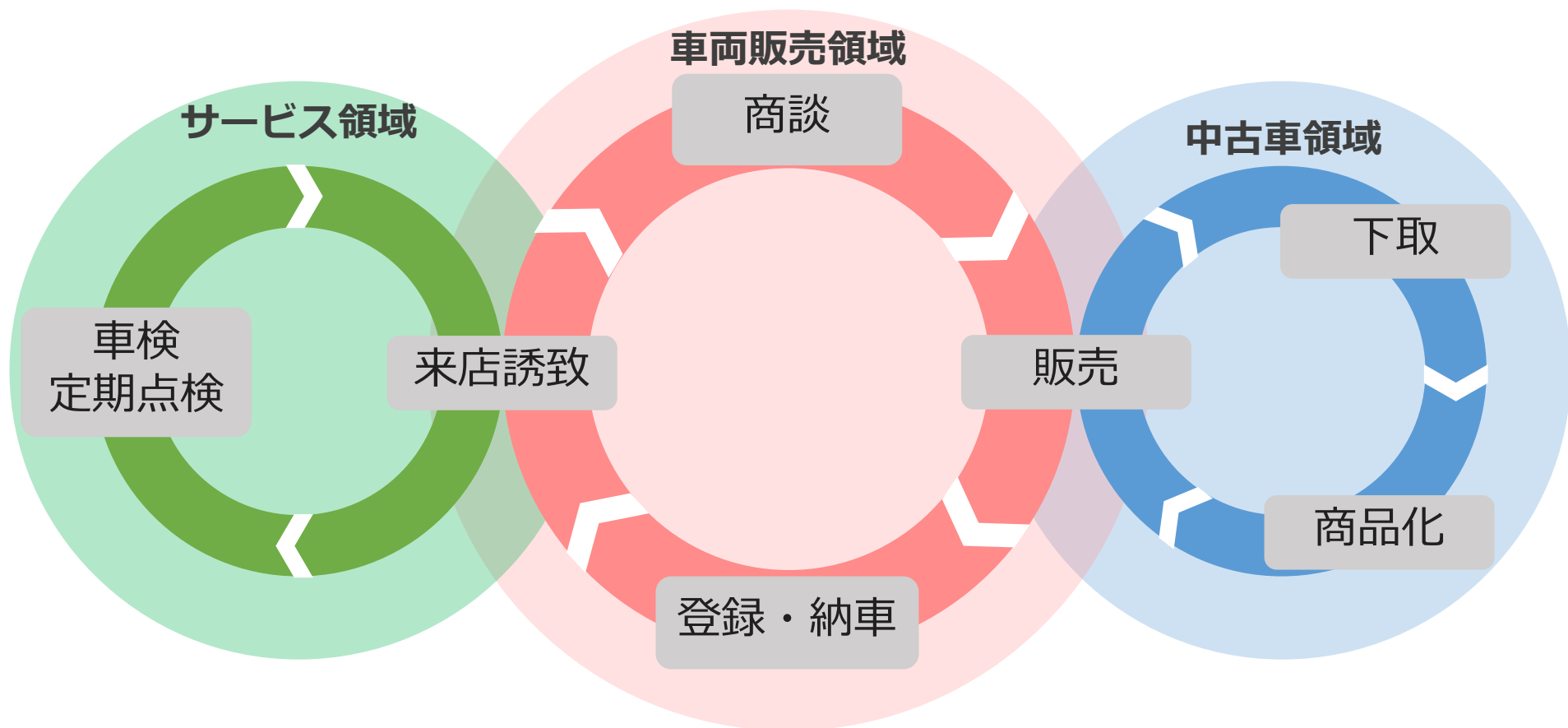


既存商品の提案活動を通じて、お客様の様々なニーズを掘り
起こし、各種ソリューションを“Co-Creation”します。

■ Crocoシリーズ ～新車販売会社向け業務支援システム～

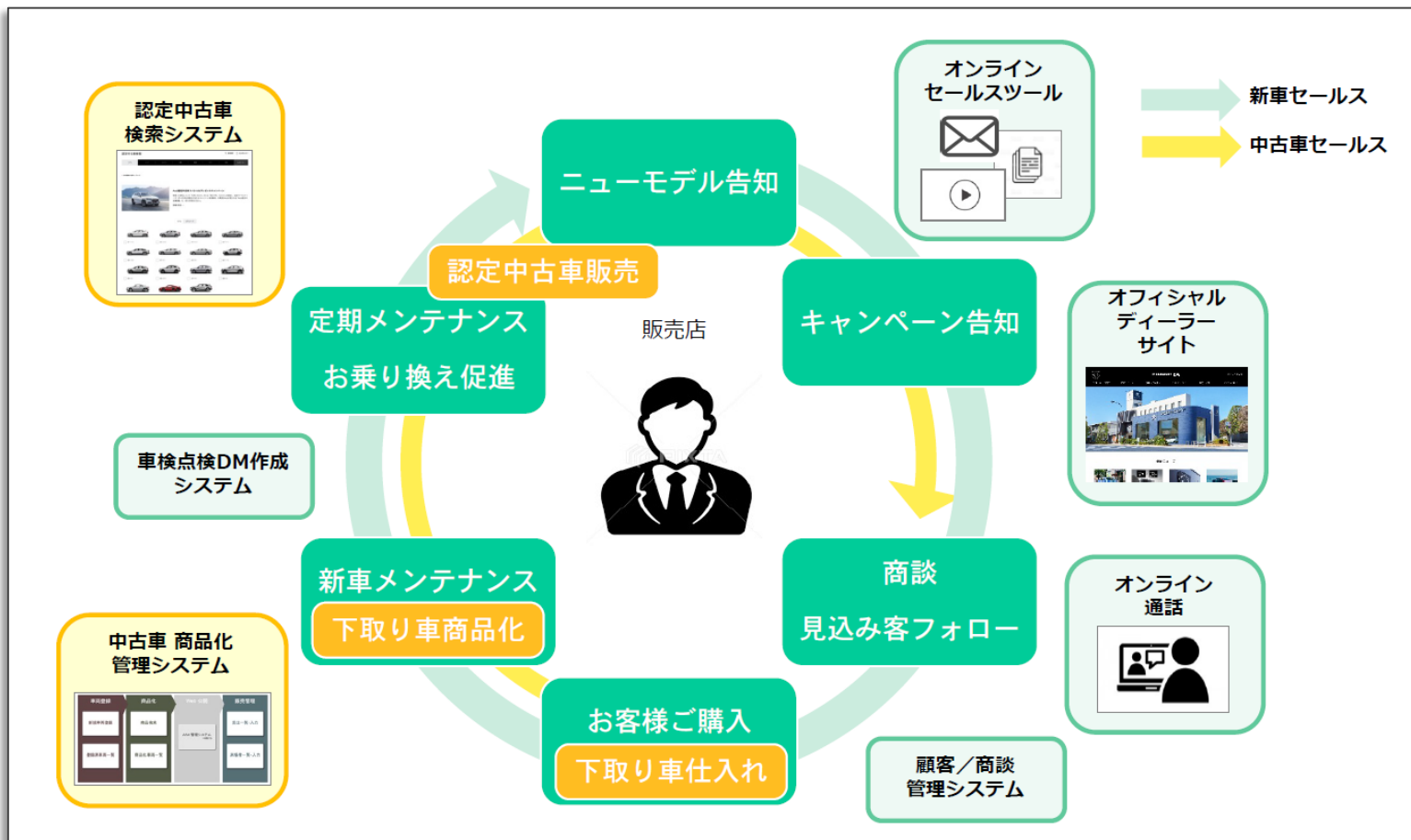
新車販売会社の業務効率化・DXを積極支援

- ・各領域の間に膨大な量の業務が存在。
- ・各社で異なる業務フローに対応可能な支援システムの開発と展開を予定。



■ キーワード

- ・ 同業界/類似業種ではあるにも関わらず顧客カテゴリが異なる
- ・ 同業界/類似業種ではあるにも関わらず商品ラインナップが異なる
- ・ 提供ツールの豊富さ（Crocoシリーズのコンセプトに合致するツール多数）



連結子会社

■ Inspiration株式会社 (Inspiration Co., Ltd.)

設立：1997年11月 資本金：35,000千円（当社100%） 本社：東京都品川区
代表者：濱川 洋三 事業目的：自動車販売店向けソリューション事業

■ ジェイ・コア 株式会社 (J Core Co., Ltd.) ※休眠中

設立：2000年08月 資本金：100,000千円（当社100%） 本社：東京都目黒区
代表者：前田 格 事業目的：システムソリューション事業

■ ValuAble Co., Ltd.

設立：2021年12月 資本金：KRW500,000,000（当社80.0%） 本社：韓国ソウル市
代表者：金昊奂 事業目的：自動車関連事業者向けコンテンツ開発およびシステムサービス事業

■ 千車科技（北京）有限公司 (QianChe Technology Service Beijing Co., Ltd.) ※休眠中

設立：2013年06月 資本金：USD700,000（当社100%） 本社：中国北京市
代表者：前田 格 事業目的：自動車ファイナンス事業者向け業務支援事業

持分法適用関連会社

■ 株式会社エヴリス

設立：2009年08月 資本金：20,000千円（当社24.5%） 本社：東京都豊島区
代表者：田村 毅 事業目的：自動車ファイナンス事業者向けコンサルティング事業

その他

■ 日本福祉車両販売株式会社 (Japan Wheelchair-accessible Vehicle Dealer Co., Ltd.)

設立：2017年04月 資本金：10,000千円（当社37.5%） 本社：東京都豊島区
代表者：田村 毅 事業目的：福祉車両の在庫ターミナル構築並びに供給事業

社名	システム・ロケーション株式会社
経営理念	“Co-Creation” お客様と共に新たな価値を創造する 成長と安定を兼ね備えたユニークな企業
事業内容	自動車関連事業者向け業務支援事業
創業	平成4(1992)年7月1日
代表者	前田 格
従業員数	57名(連結 [〓] - ^λ 2023年9月30日現在)
所在地	東京都目黒区東山2丁目6番3号

Co-Creation



本資料に関するお問い合わせ

システム・ロケーション株式会社
取締役 井坂 俊達

TEL : 03 (6452) 2864
E-mail : ir@slc.jp